

121 次の問いに答えよ。ただし、 $\lim_{x \rightarrow \infty} \frac{\log x}{x} = 0$ であること、また、 e は自然対数の底で、 $e < 3$ であることを用いてよい。

- (1) 自然数 n に対して、方程式 $\frac{\log x}{x} = \frac{1}{3n}$ は $x > 0$ の範囲にちょうど2つの実数解をもつことを示せ。
 (2) (1) の二つの実数解を α_n, β_n ($\alpha_n < \beta_n$) とするとき、
 $1 < \alpha_n < e^{\frac{1}{3n}}, ne < \beta_n$
 が成り立つことを示せ。また、 $\lim_{n \rightarrow \infty} \alpha_n$ を求めよ。

(2006-1)

(1) $f(x) = \frac{\log x}{x}$ $x > 0$ のとき

$$f'(x) = \frac{\frac{1}{x} \cdot x - \log x}{x^2} = \frac{1 - \log x}{x^2}$$

$\therefore x = e$ のとき $f'(x) = 0$.

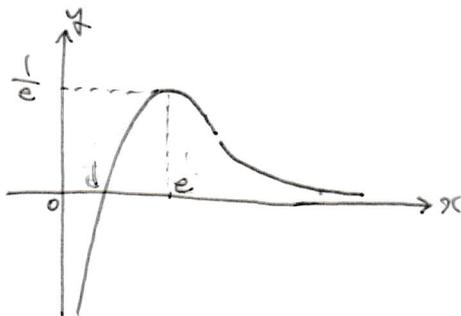
x	0	\dots	e	\dots
f'	\nearrow		$+$	0
f	\downarrow	\nearrow	$\frac{1}{e}$	\rightarrow

また、 $f(x) = 0$ のとき

$$\frac{\log x}{x} = 0 \quad \therefore x = 1$$

$$\lim_{x \rightarrow 0} f(x) = -\infty, \quad \lim_{x \rightarrow \infty} f(x) = 0$$

よって、 $f = f(x)$ のグラフは下図。



よって、 $y = a$ ($a = \text{定数}$) と $y = f(x)$ と
 共有点は2個もたは、
 $0 < a < \frac{1}{e}$

をみたす x は2つある。

$e < 3$ より、 $\frac{1}{3} < \frac{1}{e}$.

$n \geq 1$ より、 $0 < \frac{1}{3n} < \frac{1}{e}$

$\therefore a = \frac{1}{3n}$ は条件を満たす。

\therefore 方程式 $\frac{\log x}{x} = \frac{1}{3n}$ は

$x > 0$ の範囲にちょうど2つの実数解をもつ。

(2) $g(x) = \frac{\log x}{x} - \frac{1}{3n}$ (2つを考慮)

$$g(1) = -\frac{1}{3n} < 0$$

$$g(e^{\frac{1}{3n}}) = \frac{\frac{1}{3n}}{e^{\frac{1}{3n}}} - \frac{1}{3n}$$

$$= \frac{1}{e^{\frac{1}{3n}} \cdot 3n} - \frac{1}{3n}$$

$\therefore e < 3$ より、 $e^{\frac{1}{3n}} < 3$.

$\therefore \frac{1}{e^{\frac{1}{3n}}} > \frac{1}{3}$ より

$$g(e^{\frac{1}{3n}}) > 0$$

$y = g(x)$ は $1 < x < e^{\frac{1}{3n}} < e$

で単調増加であり、 $g(1) < 0, g(e^{\frac{1}{3n}}) > 0$

より、求める方程式の実数解のうち1つは

$1 < x < e^{\frac{1}{3n}}$ の範囲に存在する。

また、左図より、 $1 < \alpha_n < e^{\frac{1}{3n}}$

$$1 < \alpha_n < e^{\frac{1}{3n}}$$

$$\begin{aligned}
 f(ne) &= \frac{\log ne}{ne} - \frac{1}{3n} \\
 &= \frac{\log n + 1}{ne} - \frac{1}{3n} \\
 &> \frac{\log n + 1}{3n} - \frac{1}{3n} \\
 &= \frac{\log n}{3n} \geq 0. \quad (\because n \geq 1)
 \end{aligned}$$

†7:

$$\begin{aligned}
 \lim_{x \rightarrow \infty} f(x) &= \lim_{x \rightarrow \infty} \left(\frac{\log x}{x} - \frac{1}{3x} \right) \\
 &= -\frac{1}{3x} < 0.
 \end{aligned}$$

2^oより、 $f(x)$ は $(e)ne < x$ で単調減少.

\therefore 実数解 β_n は、 $ne < \beta_n$ であり、 \square .

(2)の前半は2^oより示す.

$$1 < x_n < e^{\frac{1}{n}}$$

$$\therefore \lim_{n \rightarrow \infty} e^{\frac{1}{n}} = 1.$$

(2)の后半は(1)の原理より、 $\lim_{n \rightarrow \infty} x_n = 1$ である.

122 直線 $l: y = x + a$ が曲線 $C: y = 2\sin x$ ($-\pi \leq x \leq \pi$) に接しているとき、次の問いに答えよ。ただし、 $a \geq 0$ とする。

(1) a の値を求めよ。

(2) 曲線 C と直線 l で囲まれた図形の $y \geq 0$ の範囲にある部分を、 x 軸のまわりに回転する。この回転体の体積を求めよ。

(2005-1)

(1) $y = 2\sin x$
 $y' = 2\cos x$

∴ 点 $(t, 2\sin t)$ における曲線 C の接線の傾きは、 $2\cos t$ 。

直線 l が曲線 C に接する。∴ l が C の接線となす傾きは、 l の傾きは、 1 。

$2\cos t = 1$ とする t ($-\pi \leq t \leq \pi$) は、

$$\cos t = \frac{1}{2}$$

$$t = -\frac{\pi}{3}, \frac{\pi}{3}$$

∴ l と C の接点とは、

$$\left(-\frac{\pi}{3}, -\sqrt{3}\right), \left(\frac{\pi}{3}, \sqrt{3}\right)$$

直線 l が “この点を通る”。

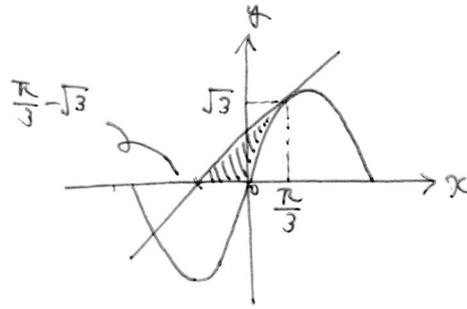
$$-\sqrt{3} = -\frac{\pi}{3} + a \Leftrightarrow a = \frac{\pi}{3} - \sqrt{3}$$

$$\sqrt{3} = \frac{\pi}{3} + a \Leftrightarrow a = \sqrt{3} - \frac{\pi}{3}$$

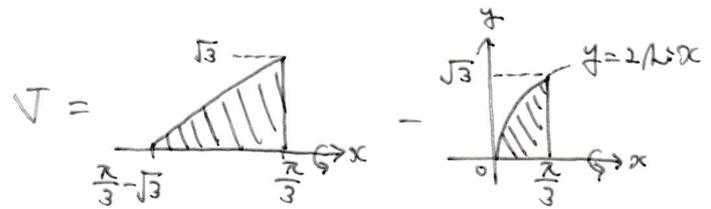
∴ $a \geq 0$ ∴

$$a = \sqrt{3} - \frac{\pi}{3} \quad \#$$

(2) 直線 l の方程式は $y = x + \sqrt{3} - \frac{\pi}{3}$ 。



求める体積は上記の斜線部分を x 軸のまわりに回転して得られるものである。



$$V = \pi(\sqrt{3})^2 \cdot \sqrt{3} \times \frac{1}{3} - \pi \int_0^{\pi/3} (2\sin x)^2 dx$$

$$= \sqrt{3}\pi - 4\pi \int_0^{\pi/3} \sin^2 x dx$$

$$\because \int_0^{\pi/3} \sin^2 x dx = \int_0^{\pi/3} \frac{1 - \cos 2x}{2} dx$$

$$= \frac{1}{2} \left[x - \frac{1}{2} \sin 2x \right]_0^{\pi/3}$$

$$= \frac{\pi}{6} - \frac{\sqrt{3}}{8}$$

$$\therefore V = \sqrt{3}\pi - 4\pi \left(\frac{\pi}{6} - \frac{\sqrt{3}}{8} \right)$$

$$= \frac{3}{2}\sqrt{3}\pi - \frac{2}{3}\pi^2 \quad \#$$

123 定数 a, b を係数とする二次関数 $y = -ax^2 + b$ のグラフが、原点を中心とする半径 1 の円と異なる 2 点で接している。ただし、 $a > 0$ とする。

- (1) a, b の条件式、および接点の座標を求めよ。
- (2) 与えられた二次関数のグラフと x 軸で囲まれる部分を、 y 軸のまわりに回転して得られる回転体の体積 V を a を用いて表せ。
- (3) V を最小にする a, b の値、およびそのときの V の値を求めよ。

(2000-2)

(1) 原点を中心とする半径 1 の円の方程式は、

$$x^2 + y^2 = 1 \Leftrightarrow x^2 = 1 - y^2$$

この円と $y = -ax^2 + b$ の共有点の y 座標は、

$$y = -a(1 - y^2) + b$$

$$\Leftrightarrow ay^2 - y + b - a = 0 \quad \dots \textcircled{1}$$

の解をみる。

2つの曲線の接点の y 座標は、2つの方程式の重解をとりよすこと、判別式を 0 とみる。

$$D = 1 - 4a(b - a) = 0$$

$$4a^2 - 4ab + 1 = 0$$

$$b = \frac{4a^2 + 1}{4a} \quad \dots \textcircled{2}$$

接点の y 座標は、

$$ay^2 - y + \frac{4a^2 + 1}{4a} - a = 0$$

$$\Leftrightarrow ay^2 - y + \frac{1}{4a} = 0$$

$$\Leftrightarrow a\left(y - \frac{1}{2a}\right)^2 = 0$$

したがって、共有点の y 座標は、

$$y = \frac{1}{2a}$$

また、 $0 < y < 1$ より

$$0 < \frac{1}{2a} < 1$$

$$2a > 1 \quad \therefore a > \frac{1}{2} \quad \dots \textcircled{3}$$

共有点の x 座標は、 $x^2 + y^2 = 1$ より

$$x^2 + \frac{1}{4a^2} = 1$$

$$x^2 = 1 - \frac{1}{4a^2} = \frac{4a^2 - 1}{4a^2}$$

$$x = \pm \frac{\sqrt{4a^2 - 1}}{2a} \quad \dots \textcircled{4}$$

③ ~ ④ より、

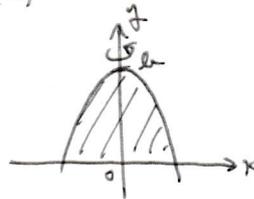
a, b の条件式は

$$b = \frac{4a^2 + 1}{4a}, \quad a > \frac{1}{2}$$

接点は、

$$\left(\pm \frac{\sqrt{4a^2 - 1}}{2a}, \frac{1}{2a} \right)$$

(2)



求める体積 V は、左図の斜線部分を y 軸のまわりに回転して得られるものである。

$$V = \pi \int_0^b x^2 dy$$

$$= \pi \int_0^b \frac{b - y}{a} dy$$

$$= \frac{\pi}{a} \left[by - \frac{1}{2}y^2 \right]_0^b$$

$$= \frac{\pi}{2a} \cdot b^2$$

$$= \frac{\pi}{2a} \cdot \left(\frac{4a^2 + 1}{4a} \right)^2 = \frac{(4a^2 + 1)^2}{32a^3} \pi$$

(3). $V \geq a$ の関数 $V(a)$ を求めよ.

$$V'(a) = \frac{2(4a^2+1) \cdot 8a \cdot 32a^3 - (4a^2+1)^2 \cdot 3 \cdot 32a^2}{(32a^3)^2}$$

$$= \frac{32a^2(4a^2+1)(16a^2 - (2a^2+3))}{(32a^3)^2} \pi$$

$$= \frac{(4a^2+1)(4a^2-3)\pi}{32a^4}$$

$a > \frac{1}{2}$ のとき $a = \frac{\sqrt{3}}{2}$ のとき $V'(a) = 0$.

a	$\frac{1}{2}$	---	$\frac{\sqrt{3}}{2}$	---
V'	+	-	0	+
V		↓		↑

増減表より $a = \frac{\sqrt{3}}{2}$ のとき V は最小値

$$V\left(\frac{\sqrt{3}}{2}\right) = \frac{(4 \cdot \frac{3}{4} + 1)^2}{32 \left(\frac{\sqrt{3}}{2}\right)^3} \pi$$

$$= \frac{16}{12\sqrt{3}} \pi = \frac{4}{3\sqrt{3}} \pi.$$

よって

最小値は $\frac{4}{3\sqrt{3}} \pi$ である。

$$h = \frac{4}{2\sqrt{3}} = \frac{2}{\sqrt{3}}$$

124 C_1, C_2 をそれぞれ次式で与えられる放物線の一部とする。
 $C_1: y = -x^2 + 2x$ ($0 \leq x \leq 2$), $C_2: y = -x^2 - 2x$ ($-2 \leq x \leq 0$)
 また, a を実数とし, 直線 $y = a(x+4)$ を l とする。

- (1) 直線 l と C_1 が異なる2つの共有点を持つための a の値の範囲を求めよ。
 以下, a が (1) の条件を満たすとする。このとき, l と C_1 で囲まれた領域の面積を S_1 , x 軸と C_2 で囲まれた領域で l の下側にある部分の面積を S_2 とする。
- (2) S_1 を a を用いて表せ。
- (3) $S_1 = S_2$ を満たす実数 a が $0 < a < \frac{1}{5}$ の範囲に存在することを示せ。

(1) 直線 l と C_1 の共有点の x 座標は。

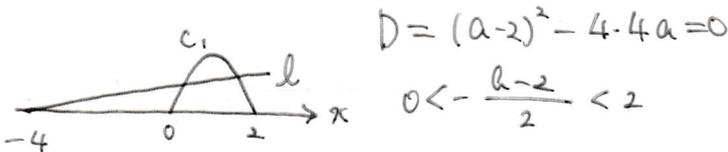
(2015-1)

$$-x^2 + 2x - a(x+4) = 0 \quad \dots \textcircled{1}$$

\pm 解は $x = \alpha, \beta$ 。

$$\textcircled{1} \Leftrightarrow x^2 + (a-2)x + 4a = 0.$$

$0 < x < 2$ となる l と C_1 が異なる2つの共有点を持つ条件は。



$$D = (a-2)^2 - 4 \cdot 4a = 0$$

$$0 < -\frac{a-2}{2} < 2$$

$$\text{すなわち, } 0 < -\frac{a-2}{2} < 2 \text{ より}$$

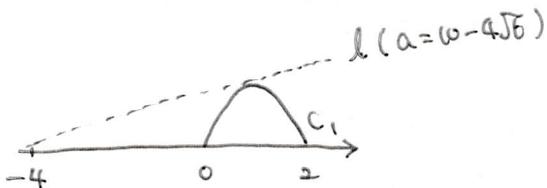
$$-2 < a < 2. \quad \dots \textcircled{2}$$

$$\text{また, } (a-2)^2 - 16a = 0 \text{ より}$$

$$a^2 - 20a + 4 = 0$$

$$a = 10 \pm 4\sqrt{6}. \quad \dots \textcircled{3}$$

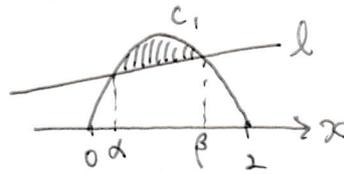
$$\textcircled{2} \textcircled{3} \text{ より } a = 10 - 4\sqrt{6}.$$



上図より, l と C_1 が異なる2つの共有点をもつ条件は。

$$0 \leq a < 10 - 4\sqrt{6}. \quad \dots \text{---}$$

(2)



求める面積 S_1 は
 左図の斜線部であり。
 2つの共有点 α, β ($\alpha < \beta$)
 とおくと。

$$S_1 = \int_{\alpha}^{\beta} \{-x^2 + 2x - a(x+4)\} dx$$

$$= - \int_{\alpha}^{\beta} (x-\alpha)(x-\beta) dx$$

$$= \frac{1}{6}(\beta-\alpha)^3$$

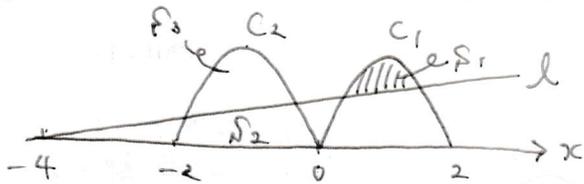
すなわち, $\textcircled{1}$ より, 共有点の x 座標は

$$x = \frac{-(a-2) \pm \sqrt{a^2 - 20a + 4}}{2}$$

$$\text{よって } \beta - \alpha = \sqrt{a^2 - 20a + 4}.$$

$$\therefore S_1 = \frac{1}{6}(\sqrt{a^2 - 20a + 4})^3 \quad \dots \text{---}$$

(3)



まず

$$\begin{aligned}
 S_2 + S_3 &= \int_{-2}^0 \{-x^2 - 2x\} dx \\
 &= -\int_{-2}^0 x(x+2) dx \\
 &= \frac{1}{6} \cdot 2^3 = \frac{4}{3}
 \end{aligned}$$

次に、 C_2 と l の共有点の x 座標を α, β ($\alpha < \beta$) とおく。

$$\begin{aligned}
 S_3 &= \int_{\alpha}^{\beta} \{-x^2 - 2x\} - a(x+4) dx \\
 &= \frac{1}{6} (\beta - \alpha)^3
 \end{aligned}$$

よって

$$\begin{aligned}
 (-x^2 - 2x) - a(x+4) &= 0 \\
 \Leftrightarrow x^2 + (2+a)x + 4a &= 0 \quad (*) \\
 x &= \frac{-(2+a) \pm \sqrt{(2+a)^2 - 16a}}{2} \\
 &= \frac{-(2+a) \pm \sqrt{a^2 - 12a + 4}}{2}
 \end{aligned}$$

よって

$$\beta - \alpha = \sqrt{a^2 - 12a + 4}$$

$$\therefore S_3 = \frac{1}{6} (\sqrt{a^2 - 12a + 4})^3$$

以上の結果より

$$\begin{aligned}
 S_1 = S_2 &\Leftrightarrow S_1 = \frac{4}{3} - S_3 \\
 &\Leftrightarrow \frac{1}{6} (\sqrt{a^2 - 12a + 4})^3 = \frac{4}{3} \\
 &\quad - \frac{1}{6} (\sqrt{a^2 - 12a + 4})^3
 \end{aligned}$$

よって、 $S_1 = S_2$ となる a の値 $0 < a < \frac{1}{5}$ だけあり、
区間は1つ。

$$\frac{1}{6} \{ (\sqrt{a^2 - 12a + 4})^3 + (\sqrt{a^2 - 12a + 4})^3 \} - \frac{4}{3} = 0$$

よって $a = \frac{1}{5}$ の範囲に存在する。
区間は1つだけ。

$a = 0$ のとき

$$(左辺) = \frac{1}{6} \{ 2^3 + 2^3 \} - \frac{4}{3} = \frac{4}{3} > 0$$

$a = \frac{1}{5}$ のとき

$$\begin{aligned}
 (左辺) &= \frac{1}{6} \left\{ \left(\frac{1}{5}\right)^3 + \left(\frac{\sqrt{41}}{5}\right)^3 \right\} - \frac{4}{3} \\
 &= \frac{1}{6} \left(\frac{1 + (\sqrt{41})^3}{5^3} - \frac{10^3}{5^3} \right)
 \end{aligned}$$

$$1^3 + (\sqrt{41})^3 < 10^3 \quad (*)$$

$$(左辺) < 0$$

$\therefore S_1 = S_2$ となる a の値

$0 < a < \frac{1}{5}$ の範囲に存在する

125 座標平面上の曲線 C_1, C_2 をそれぞれ

$$C_1: y = \log x (x > 0), C_2: y = (x-1)(x-a)$$

とする。ただし、 a は実数である。 n を自然数とすると、曲線 C_1, C_2 が 2 点 P, Q で交わり、 P, Q の x 座標はそれぞれ $1, n+1$ となっている。また、曲線 C_1 と直線 PQ で囲まれた領域の面積を S_n 、曲線 C_2 と直線 PQ で囲まれた領域の面積を T_n とする。このとき、以下の問いに答えよ。

- (1) a を n の式で表し、 $a > 1$ を示せ。
- (2) S_n と T_n をそれぞれ n の式で表せ。
- (3) 極限值 $\lim_{n \rightarrow \infty} \frac{S_n}{n \log T_n}$ を求めよ。

(2016-1)

(1) $y = \log x$ と $y = (x-1)(x-a)$ の
 $P(1,0)$ と $Q(n+1, \log(n+1))$ で共有点 2 点 a だ。

$$\log(n+1) = (n+1-1)(n+1-a)$$

$$\log(n+1) = n(n+1-a)$$

$$\log(n+1) - n(n+1) + na = 0$$

$$a = n+1 - \frac{1}{n} \log(n+1) \quad \#$$

<証明>

$$a-1 = n - \frac{1}{n} \log(n+1)$$

$$= \frac{1}{n} (n^2 - \log(n+1))$$

$a > 1$ だこと $a-1 > 0$ だこと $n^2 > \log(n+1)$ だこと $n \geq 1$ だこと

(右辺) > 0 だこと $n^2 > \log(n+1)$ だこと $n \geq 1$ だこと

$$n^2 > \log(n+1) \text{ だこと } f'(n) > 0$$

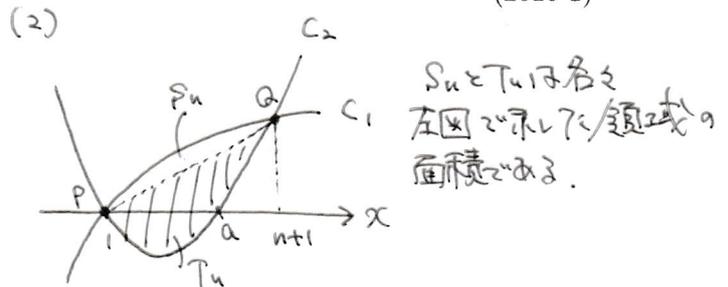
$$n^2 - \log(n+1) = f(n) \text{ だこと}$$

$$f'(n) = 2n - \frac{1}{n+1}$$

$$= \frac{2n(n+1) - 1}{n+1} > 0 \quad (n \geq 1)$$

$$\therefore f(n) > f(1) = 1 - \log 2 > 0$$

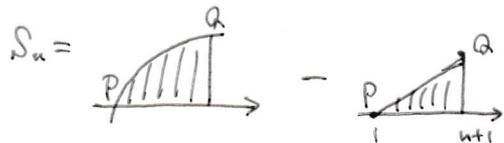
$$\therefore a-1 > 0 \text{ i.e. } a > 1 \quad \square$$



$$T_n = \int_1^{n+1} (PQ - C_2) dx$$

$$= - \int_1^{n+1} (x-1)(x-(n+1)) dx$$

$$= \frac{1}{6} \{(n+1)-1\}^3 = \frac{n^3}{6} \quad \#$$



$$= \int_1^{n+1} \log x dx - \frac{1}{2} n \log(n+1)$$

$$= [x \log x]_1^{n+1} - \int_1^{n+1} dx - \frac{1}{2} n \log(n+1)$$

$$= (n+1) \log(n+1) - n - \frac{1}{2} n \log(n+1)$$

$$= \frac{n+2}{2} \log(n+1) - n \quad \#$$

(3) (2)の結果を用いて.

$$\begin{aligned}\frac{S_n}{n \log T_n} &= \frac{\frac{n+2}{2} \log(n+1) - n}{n \log \frac{n^3}{6}} \\ &= \frac{(n+2) \log(n+1) - 2n}{2n (3 \log n - \log 6)} \\ &= \frac{n+2}{2n} \cdot \frac{\log(n+1)}{3 \log n - \log 6} - \frac{1}{3 \log n - \log 6}\end{aligned}$$

∴

$$\frac{n+2}{2n} \rightarrow \frac{1}{2} \quad (n \rightarrow \infty)$$

$$\frac{1}{3 \log n - \log 6} \rightarrow 0 \quad (n \rightarrow \infty)$$

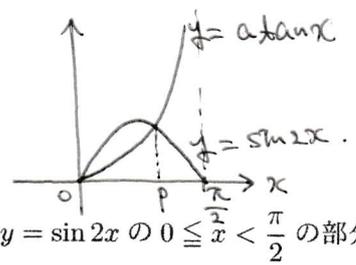
$$\frac{\log(n+1)}{3 \log n - \log 6} = \frac{\log(n+1)}{\log n} \cdot \frac{1}{3 - \frac{\log 6}{\log n}}$$

$$\rightarrow 1 \cdot \frac{1}{3} \quad (n \rightarrow \infty)$$

$$\therefore \lim_{n \rightarrow \infty} \frac{S_n}{n \log T_n} = \frac{1}{2} \cdot \frac{1}{3} - 0$$

$$= \frac{1}{6}$$

∴



126 定数 $a > 0$ に対し、曲線 $y = a \tan x$ の $0 \leq x < \frac{\pi}{2}$ の部分を C_1 、曲線 $y = \sin 2x$ の $0 \leq x < \frac{\pi}{2}$ の部分を C_2 とする。以下の問いに答えよ。

- (1) C_1 と C_2 が原点以外に交点を持つための a の条件を求めよ。
- (2) a が (1) の条件を満たすとき、原点以外の C_1 と C_2 の交点を P とし、 P の x 座標を p とする。 P における C_1 と C_2 のそれぞれの接線が直行するとき、 a および $\cos 2p$ の値を求めよ。
- (3) a が (2) で求めた値のとき、 C_1 と C_2 で囲まれた図形の面積を求めよ。

(2017-1)

(1) $y = a \tan x$ と $y = \sin 2x$ の交点の x 座標は、

$0 \leq x < \frac{\pi}{2}$ にあつて、

$$a \tan x = \sin 2x.$$

$$\Leftrightarrow a \frac{\sin x}{\cos x} = 2 \sin x \cos x.$$

$$\Leftrightarrow \sin x (a - 2 \cos^2 x) = 0.$$

$$x \neq 0 \text{ より } \cos x = \sqrt{\frac{a}{2}}.$$

つまり x は「原点以外の交点」であらう。

$0 < x < \frac{\pi}{2}$ での交点をもつのは

$$0 < \sqrt{\frac{a}{2}} < 1$$

i.e.

$$0 < a < 2$$

—#

(2) C_1 にあつて、 $y' = \frac{a}{\cos^2 x}$

C_2 にあつて、 $y' = 2 \cos 2x$.

つまり、条件は「点 P で C_1 と C_2 が直行する」となる。

$$\frac{a}{\cos^2 p} \cdot 2 \cos 2p = -1.$$

$$\Leftrightarrow 2a(2 \cos^2 p - 1) = -\cos^2 p.$$

また、(1) より $\cos p = \sqrt{\frac{a}{2}}$ である。

$$2a \cdot \left(2 \cdot \frac{a}{2} - 1\right) = -\frac{a}{2}$$

$$4a^2 - 4a = -a.$$

$$a(4a - 3) = 0$$

$$\therefore a = 0, \frac{3}{4}.$$

$a > 0$ より

$$a = \frac{3}{4} \quad \text{—#}$$

また、

$$\cos 2p = 2 \cos^2 p - 1$$

$$= 2 \cdot \frac{a}{2} - 1 = -\frac{1}{4} \quad \text{—#}$$

(3) (2) より $a = \frac{3}{4}$.

$$S = \int_0^p \left(\sin 2x - \frac{3}{4} \tan x \right) dx$$

$$= \left[-\frac{1}{2} \cos 2x - \frac{3}{4} \log |\cos x| \right]_0^p$$

$$= -\frac{1}{2} \cos 2p - \frac{3}{4} \log |\cos p| + \frac{1}{2}$$

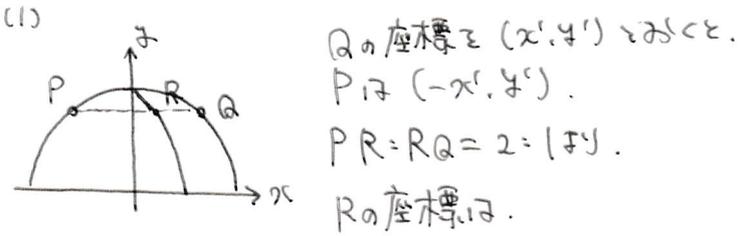
$$= -\frac{1}{2} \cdot \left(-\frac{1}{4}\right) - \frac{3}{4} \log \sqrt{\frac{1}{2} \cdot \frac{3}{4}} + \frac{1}{2}$$

$$= \frac{5}{8} - \frac{3}{8} \log \frac{3}{2} \quad \text{—#}$$

127 原点を中心とする半径3の半円 $C: x^2 + y^2 = 9$ ($y \geq 0$) 上の2点PとQに対し、線分PQを2:1に内分する点をRとする。以下の問いに答えよ。

- (1) 点Pのy座標とQのy座標が等しく、かつPのx座標はQのx座標よりも小さくなるようにPとQが動くものとする。このとき、線分PRが通過してできる図形Sの面積を求めよ。
- (2) 点Pを(3, 0)に固定する。Qが半円C上を動くとき線分PRが通過してできる図形Tの面積を求めよ。
- (3) (1)の図形Sから(2)の図形Tを除いた図形と第1象限の共通部分をUとする。Uをy軸のまわりに1回転させてできる回転体の体積を求めよ。

(2018-2)



$$\left(\frac{2x' - x'}{3}, y'\right) = \left(\frac{1}{3}x', y'\right)$$

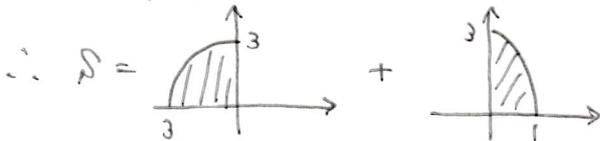
R(x, y) とおくと

$$\begin{cases} x = \frac{1}{3}x' \\ y = y' \end{cases} \quad (y' \geq 0)$$

(x', y') は半円C上より。

$$(3x)^2 + y^2 = 9 \quad (y \geq 0)$$

よってRの軌跡は、楕円 $(3x)^2 + y^2 = 9$ のうち、第1象限内のみである。



$$= \frac{1}{4} \cdot 9\pi + \frac{1}{4} \cdot 3 \cdot 1 \cdot \pi$$

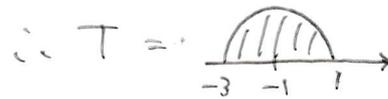
$$= 3\pi$$

∴ $x' = \frac{3}{2}(x+1), y' = \frac{3}{2}y$ 。
 (x', y') は半円C上より。

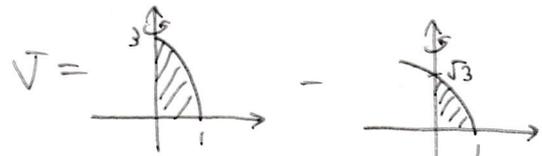
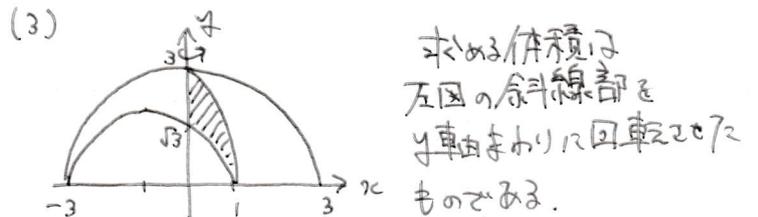
$$\frac{9}{4}(x+1)^2 + \frac{9}{4}y^2 = 9$$

$$(x+1)^2 + y^2 = 4 \quad (y \geq 0)$$

∴ Rの軌跡は中心(-1, 0) 半径2, $y \geq 0$ の半円。



$$= \frac{1}{2} \cdot 4\pi = 2\pi$$



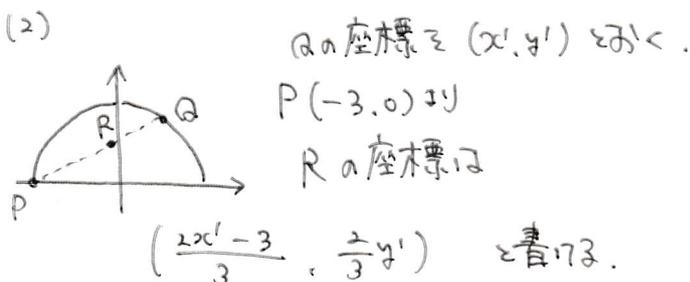
$$= V_1 - V_2$$

とおくと。

$$V_1 = \pi \int_0^3 x^2 dy$$

$$= \pi \int_0^3 \left(1 - \frac{1}{9}y^2\right) dy$$

$$= \pi \left[y - \frac{1}{27}y^3 \right]_0^3 = 2\pi$$



R(x, y) とおくと

$$\begin{cases} x = \frac{2x' - 3}{3} \\ y = \frac{2}{3}y' \end{cases} \quad (y' \geq 0)$$

(2) におつて R の方程式は $(x+1)^2 + y^2 = 4$ ($y \geq 0$)

すなわち

$$(x+1)^2 = 4 - y^2$$

$$x+1 = \pm \sqrt{4-y^2}$$

$$x = \pm \sqrt{4-y^2} - 1.$$

$x \geq 0$ より

$$x = \sqrt{4-y^2} - 1. \quad (y \leq \sqrt{3})$$

$$\therefore V_2 = \pi \int_0^{\sqrt{3}} x^2 dy$$

$$= \pi \int_0^{\sqrt{3}} (\sqrt{4-y^2} - 1)^2 dy$$

$$= \pi \int_0^{\sqrt{3}} (5 - y^2 - 2\sqrt{4-y^2}) dy$$

$$= \pi \left[5y - \frac{1}{3}y^3 \right]_0^{\sqrt{3}} - 2\pi \int_0^{\sqrt{3}} \sqrt{4-y^2} dy$$

$$= 4\sqrt{3}\pi - 2\pi \left(\int_0^{\sqrt{3}} \sqrt{4-y^2} dy \right)$$

$$= 4\sqrt{3}\pi - 2\pi \left(4\pi \cdot \frac{1}{6} + \frac{1}{2}\sqrt{3} \right)$$

$$= 3\sqrt{3}\pi - \frac{4}{3}\pi^2$$

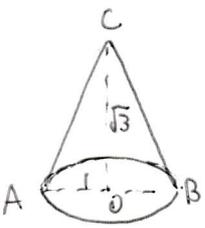
$$\therefore V = 2\pi - 3\sqrt{3}\pi + \frac{4}{3}\pi^2$$

—H

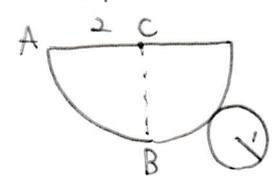
128 長さ2の線分ABを直径とする円を底面とし、高さが $\sqrt{3}$ の直円錐を考える。この直円錐の側面上で2点A, Bを結ぶ最短の道を l とする直円錐の頂点をC, 底面の中心をOとし、以下の問いに答えよ。

- (1) 直円錐の展開図を用いて l の長さを求めよ。
- (2) l 上の点Pに対して、線分CPの延長と弧ABの交点をQとする。 $\angle AOQ = \theta$ として CP^2 を $\sin \theta$ で表せ。ただし、 $0^\circ \leq \theta \leq 180^\circ$ とする。
- (3) Pから線分OQに下ろした垂線をPRとし、Aから線分OQに下ろした垂線をASとする。 $0^\circ < \theta < 90^\circ$ の範囲で $\frac{OS^2}{OR^2}$ の最大値を求めよ。

(1999-2)



(1) 展開図は下図.

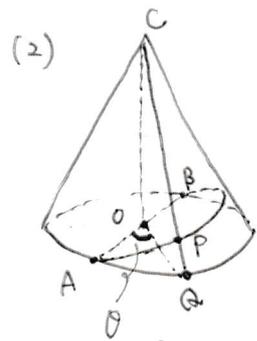


$OC = \sqrt{3}, AO = 1$ より
 $AC = 2$.

底面の円の周は 2π .
 側面のおりまわりの半径は
 2 であり、おりまわりの角は
 $\frac{2\pi}{4\pi} \times 2\pi = \pi$.

求める l は展開図での線分ABである。

$\therefore (l \text{ の長さ}) = 2\sqrt{2}$ //



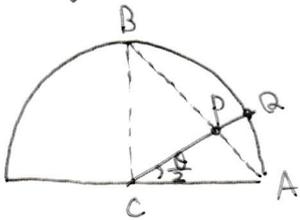
$\angle AOQ = \theta$ であり、
 $\angle ACQ = \frac{1}{2}\theta$ である。

$\triangle ACP$ において、
 正弦定理より、

$$\frac{AC}{\sin \angle APC} = \frac{CP}{\sin \angle CAP}$$

7da24

$$CP = \frac{AC}{\sin \angle APC} \cdot \sin \angle CAP$$

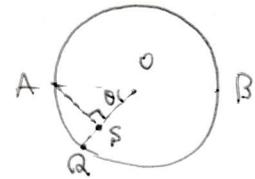
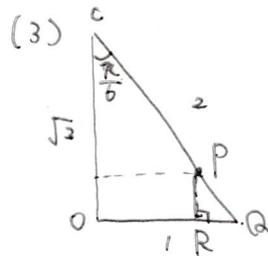


$\therefore \angle CAP = \frac{\pi}{4}, AC = 2$ より

$$CP = \sqrt{2} \frac{1}{\sin \angle APC}$$

また、 $\angle APC = \pi - \frac{\pi}{4} - \frac{\theta}{2}$
 $= \frac{3}{4}\pi - \frac{\theta}{2}$.

$$\begin{aligned} \therefore CP^2 &= 2 \cdot \frac{1}{\sin^2(\frac{3}{4}\pi - \frac{\theta}{2})} \\ &= 2 \frac{1}{\frac{1 - \cos(\frac{3}{2}\pi - \theta)}{2}} \\ &= 4 \cdot \frac{1}{1 - \cos(\frac{3}{2}\pi - \theta)} \\ &= 4 \cdot \frac{1}{1 + \sin \theta} \quad // \end{aligned}$$



$OS = 1 \cdot \cos \theta$
 $OR = CP \cdot \sin \frac{\pi}{4}$
 $= \frac{1}{2} CP$.

$$\therefore \frac{OS^2}{OR^2} = \frac{4 \cos^2 \theta}{CP^2}$$

$$\begin{aligned} &= \cos^2 \theta \cdot (1 + \sin \theta) \\ &= (1 - \sin \theta)(1 + \sin \theta) \\ &= (1 - \sin \theta)(1 + \sin \theta)^2 \end{aligned}$$

また、 $x = \sin \theta$ であり、

$$f(x) = (1-x)(1+x)^2 \quad (0 \leq x \leq 1)$$

と可也。

$$f'(x) = 2(1+x)(1-x) + (1+x)^2 \cdot (-1)$$

$$= (1+x)(1-3x)$$

増減表

x	0	---	$\frac{1}{3}$	---	1
f'	/	+	0	-	/
f	/	↗	⊕	↘	-

表より、 $x = \frac{1}{3}$ で f は最大値をとり、

$$\therefore \text{よって、} f\left(\frac{1}{3}\right) = \left(\frac{4}{3}\right)^2 \cdot \frac{2}{3} = \frac{32}{27}$$

よって $\frac{32}{27}$ が最大値である。

—#

129 平面上の曲線 C が媒介変数 t を用いて
 $x = \sin t - t \cos t, y = \cos t + t \sin t$ ($0 \leq t \leq \pi$)
 で与えられている。

- (1) 曲線 C の長さを求めよ。
- (2) 曲線 C 上の各点 P において、 P における接線と P で直行する直線を考える。この直線上の点で原点までの距離が最短となる点は、 P を動かすときどんな図形を描くか。
- (3) $\int_0^\pi t \sin 2t \, dt$ を求めよ。
- (4) 曲線 C と y 軸および直線 $y = -1$ で囲まれる図形の面積 S を求めよ。

(1998-3)

11) 曲線 C の長さを求めよ。

$$len = \int_0^\pi \sqrt{\left(\frac{dx}{dt}\right)^2 + \left(\frac{dy}{dt}\right)^2} dt$$

で表す。

$$\begin{aligned} \frac{dx}{dt} &= \cos t - (\cos t + t(-\sin t)) \\ &= t \sin t \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \frac{dy}{dt} &= -\sin t + (\sin t + t \cos t) \\ &= t \cos t \end{aligned}$$

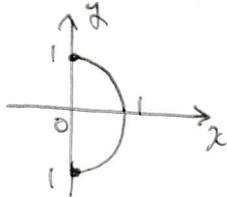
$$\begin{aligned} \therefore len &= \int_0^\pi \sqrt{t^2(\sin^2 t + \cos^2 t)} dt \\ &= \int_0^\pi t \, dt = \frac{1}{2}\pi^2 \quad \text{---} \end{aligned}$$

① ② 利. 原点から t の距離が最短の点の座標は、 $(\sin t, \cos t)$. ($t \neq 0, \frac{\pi}{2}, \pi$)

$t = 0, \frac{\pi}{2}, \pi$ のときは $t \sin t = 0$.

$(0, 1), (1, 0), (0, -1)$.

よって P の軌跡は $x^2 + y^2 = 1$ ($x \geq 0$).



$$\begin{aligned} (3) \cdot \int_0^\pi t \sin 2t \, dt &= \left[t \left(-\frac{1}{2} \cos 2t\right) \right]_0^\pi \\ &\quad - \int_0^\pi \left(-\frac{1}{2} \cos 2t\right) dt \\ &= -\frac{1}{2}\pi \quad \text{---} \end{aligned}$$

(2) 法線 l を求めよ。 l の方程式は。

$$y - (\cos t + t \sin t) = -\frac{dx}{dy} (x - (\sin t - t \cos t))$$

$$\begin{aligned} \Leftrightarrow y - (\cos t + t \sin t) &= -\frac{t \sin t}{t \cos t} (x - (\sin t - t \cos t)) \\ &= -\frac{t \sin t}{t \cos t} (x - (\sin t - t \cos t)) \quad (t \neq 0, \frac{\pi}{2}) \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \Leftrightarrow y \cos t - \cos t (\cos t + t \sin t) &= -\sin t (x - \sin t + t \cos t) \\ &= -\sin t (x - \sin t + t \cos t) \end{aligned}$$

$$\Leftrightarrow y \cos t + x \sin t - 1 = 0 \quad \text{---} \textcircled{1}$$

また、原点から l の垂線の方程式は。

$$y = \frac{\cos t}{\sin t} x \quad (t \neq 0, \pi)$$

$$y \sin t - x \cos t = 0 \quad \text{---} \textcircled{2}$$

(4) $t: 0 \rightarrow \pi$ で $x: 0 \rightarrow \pi$.

$$\begin{aligned} \therefore S &= \int_0^\pi (y - (-1)) dx \\ &= \int_0^\pi \{ \cos t + t \sin t + 1 \} (t \sin t) dt \\ &= \int_0^\pi \{ t \cos t \sin t + t^2 \sin^2 t + t \sin t \} dt \end{aligned}$$

よって。

$$\int_0^\pi t \cos t \sin t \, dt = \frac{1}{2} \int_0^\pi t \sin 2t \, dt = -\frac{\pi}{4}$$

$$\begin{aligned} \int_0^\pi t^2 \sin^2 t \, dt &= \int_0^\pi t^2 \frac{1 - \cos 2t}{2} dt \\ &= \frac{1}{2} \left[\frac{1}{3} t^3 \right]_0^\pi - \frac{1}{2} \int_0^\pi t^2 \cos 2t \, dt \\ &= \frac{\pi^3}{6} - \frac{1}{2} \left[t^2 \cdot \frac{1}{2} \sin 2t \right]_0^\pi \\ &\quad + \frac{1}{2} \int_0^\pi 2t \cdot \frac{1}{2} \sin 2t \, dt \\ &= \frac{\pi^3}{6} + \frac{1}{2} \cdot \left(-\frac{1}{2}\pi\right) = \frac{\pi^3}{6} - \frac{1}{4}\pi \end{aligned}$$

$$\int_0^{\pi} t \cos t \, dt = [-t \cos t]_0^{\pi} + \int_0^{\pi} \cos t \, dt$$

$$= \pi.$$

$$\therefore P = \frac{\pi^3}{6} + \frac{\pi}{2}$$

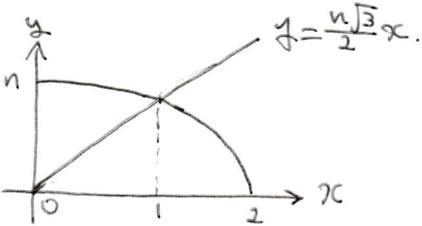
— 4

130 楕円 $\frac{x^2}{4} + \frac{y^2}{n^2} = 1$ ($n = 1, 2, \dots$)

の第一象限内の部分と、直線 $y = \frac{n\sqrt{3}}{2}x$ および x 軸で囲まれる部分を A_n とし、 A_n の面積を S_n で表す。また、 A_n の内部および周上の点 (x, y) のうち、 x と y がともに整数であるものの総数を T_n で表す。次の問いに答えよ。

- (1) T_n, S_n を求めよ。
 (2) 極限值 $\lim_{n \rightarrow \infty} \frac{T_n}{S_n}$ を求めよ。

(1995-3)



S_n に注目.

$$S_n = \frac{\sqrt{3}}{2}n \cdot \frac{1}{2} + \int_1^2 y dx$$

(1) 第一象限内での共有点の x 座標は、

$$\frac{x^2}{4} + \frac{1}{n^2} \cdot \left(\frac{n\sqrt{3}}{2}x\right)^2 = 1$$

$$\frac{x^2}{4} + \frac{3}{4}x^2 = 1$$

$$x^2 = 1$$

$x > 0$ より $x = 1$

∴ ∴

$$\int_1^2 y dx = \int_1^2 n \sqrt{1 - \frac{x^2}{4}} dx$$

$$= \frac{1}{2}n \int_1^2 \sqrt{4 - x^2} dx$$

$$= \frac{1}{2}n \times \left[2 \cdot \frac{\pi}{3} - \frac{1}{2}\sqrt{3} \right]$$

- T_n に注目.

- $x=0$ のとき、 $y=0$ のみ成り格子点.
- $x=2$ のとき、 $y=0$ のみ成り格子点.
- $x=1$ のとき、 $0 \leq y \leq \frac{\sqrt{3}}{2}n$ 範囲内.

x, y が共に整数である格子点の数は、 $\left[\frac{\sqrt{3}}{2}n\right] + 1$.

∴ ∴

$$S_n = \frac{\sqrt{3}}{4}n + \frac{\pi}{3}n - \frac{\sqrt{3}}{4}n$$

$$= \frac{\pi}{3}n$$

(2)

$$\frac{\sqrt{3}}{2}n - 1 < \left[\frac{\sqrt{3}}{2}n\right] < \frac{\sqrt{3}}{2}n + 1$$

$$\frac{\sqrt{3}}{2}n + 2 < \left[\frac{\sqrt{3}}{2}n\right] + 3 < \frac{\sqrt{3}}{2}n + 4$$

$$\frac{\frac{\sqrt{3}}{2}n + 2}{\frac{\pi}{3}n} < \frac{T_n}{S_n} < \frac{\frac{\sqrt{3}}{2}n + 4}{\frac{\pi}{3}n}$$

∴ ∴

$$\frac{\frac{\sqrt{3}}{2}n + 2}{\frac{\pi}{3}n} = \frac{3\sqrt{3}}{2\pi} + \frac{6}{\pi n} \rightarrow \frac{3\sqrt{3}}{2\pi}$$

$$\frac{\frac{\sqrt{3}}{2}n + 4}{\frac{\pi}{3}n} = \frac{3\sqrt{3}}{2\pi} + \frac{12}{\pi n} \rightarrow \frac{3\sqrt{3}}{2\pi}$$

∴ ∴. 楕円 $\frac{x^2}{4} + \frac{y^2}{n^2} = 1$ の第一象限内におけるものは、 $y = n\sqrt{1 - \frac{x^2}{4}}$

は $\frac{3\sqrt{3}}{2\pi}$ の原理である.

$$\lim_{n \rightarrow \infty} \frac{T_n}{S_n} = \frac{3\sqrt{3}}{2\pi}$$

131 xy 座標平面で点 P は点 $A(1, 0)$ を始点として、原点 O を中心とする半径 1 の円周上を正の向きに一定の速さで回転する。点 Q は動径 OP 上を原点 O から出発して一定の速さで P に向かって進み、点 P が円を 1 周して点 A に戻ってきたときにちょうど点 P に到達するとする。このときの点 Q の軌跡を C 、 $\angle POA = \theta$ 、そして C と線分 OQ とで囲まれる領域の面積を $S(\theta)$ とする。次の問いに答えよ。

- (1) Q の座標を θ を用いて表せ。
- (2) 上の座標を $Q(\theta)$ とする。点 $Q(\pi)$ における C の接線と y 軸との交点の座標を求めよ。
- (3) $0 \leq \theta_1 < \theta_2 \leq 2\pi$ のとき

$$\frac{1}{2} \left(\frac{\theta_1}{2\pi} \right)^2 < \frac{S(\theta_2) - S(\theta_1)}{\theta_2 - \theta_1} < \frac{1}{2} \left(\frac{\theta_2}{2\pi} \right)^2$$
 を示せ。
- (4) $\frac{dS(\theta)}{d\theta}$ および $S(\theta)$ を求めよ。

(1)

P が A まで (同じ速さで) 点 Q が P に到達するまで。
 $|OQ| = \frac{\theta}{2\pi}$
 $\therefore Q$ の座標は、
 $\left(\frac{\theta}{2\pi} \cos \theta, \frac{\theta}{2\pi} \sin \theta \right)$

(2) $x = \frac{\theta}{2\pi} \cos \theta, \quad y = \frac{\theta}{2\pi} \sin \theta$ より、

$$\frac{dx}{d\theta} = \frac{1}{2\pi} (\cos \theta - \theta \sin \theta)$$

$$\frac{dy}{d\theta} = \frac{1}{2\pi} (\sin \theta + \theta \cos \theta)$$

$\theta = \pi$ のとき、

$$\frac{dy}{dx} = \frac{\frac{dy}{d\theta}}{\frac{dx}{d\theta}} = \frac{\frac{1}{2\pi} (0 + \pi \cdot (-1))}{\frac{1}{2\pi} (-1 - \pi \cdot 0)} = \pi$$

また、
 $Q(\pi) = \left(-\frac{1}{2}, 0\right)$
 したがって、 $Q(\pi)$ における C の接線は、

$$y - 0 = \pi \left(x - \left(-\frac{1}{2}\right) \right)$$

$$y = \pi x + \frac{1}{2}\pi$$

y 軸との交点の座標は、
 $\left(0, \frac{1}{2}\pi\right)$

(3) (1994-3)

$S(\theta_2) - S(\theta_1)$ は
 左図の斜線部分がみよ。

図より、 $S(\theta_2) - S(\theta_1)$ は、半径 $\frac{\theta_1}{2\pi}$ 、中心角 $\theta_2 - \theta_1$ のおうぎ形の面積より大きく、半径 $\frac{\theta_2}{2\pi}$ 、中心角 $\theta_2 - \theta_1$ のおうぎ形の面積より小さい。

$$\therefore \frac{1}{2} \left(\frac{\theta_1}{2\pi} \right)^2 \cdot (\theta_2 - \theta_1) < S(\theta_2) - S(\theta_1) < \frac{1}{2} \left(\frac{\theta_2}{2\pi} \right)^2 \cdot (\theta_2 - \theta_1)$$

(4) (3) を示すことにあて、 $\theta_2 \rightarrow \theta_1$ とおくと、

$$\frac{S(\theta_2) - S(\theta_1)}{\theta_2 - \theta_1} \rightarrow \frac{1}{2} \cdot \left(\frac{\theta_1}{2\pi} \right)^2 \quad (\because \text{両辺を } \theta_2 - \theta_1 \text{ で割る})$$

よって、任意の θ_1 ($0 < \theta_1 < 2\pi$) に対して成立する。従って定義より、

$$\frac{dS(\theta)}{d\theta} = \frac{1}{2} \left(\frac{\theta}{2\pi} \right)^2$$

$$S(\theta) = \int_0^\theta \frac{dS(\theta)}{d\theta} \cdot d\theta$$

$$= \int_0^\theta \frac{1}{2} \cdot \left(\frac{\theta}{2\pi} \right)^2 d\theta$$

$$= \frac{1}{8\pi^2} \left[\frac{1}{3} \theta^3 \right]_0^\theta = \frac{\theta^3}{24\pi^2}$$

132 動点 P は原点から出発して、時刻 t における座標は $(t, 0)$ であるとする。また動点 Q は時刻 $t=0$ のとき点 $(0, 1)$ から出発して点 P との距離を一定に保ちながら、常に点 P に向かって (すなはち Q の速度ベクトルが \vec{QP} と平行であるように) 進むとする。このとき次の問いに答えよ。

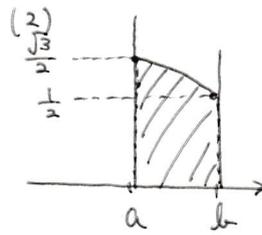
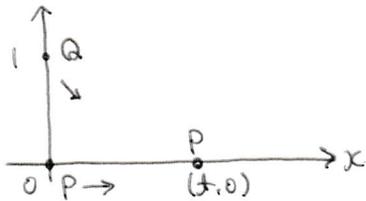
(1) 点 Q の時刻 t における座標を (x, y) とすると、

$$\frac{dy}{dx} = -\frac{y}{\sqrt{1-y^2}}$$

が成り立つことを示せ。

(2) 点 Q の y 座標が $\frac{\sqrt{3}}{2}$ となったときの x 座標を a 、 y 座標が $\frac{1}{2}$ となった時の x 座標を b とする。点 Q の描く曲線と x 軸、直線 $x=a$ 、および直線 $x=b$ により囲まれる領域の面積を求めよ。

(1993-5)



求める面積は左図の斜線部である。

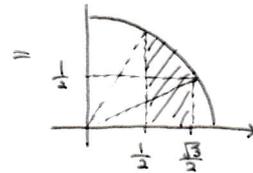
(1)より

$$\frac{dy}{dx} = -\frac{y}{\sqrt{1-y^2}}$$

$$\therefore y dx = -\sqrt{1-y^2} dy$$

$$S = \int_a^b y dx$$

$$= \int_{\frac{1}{2}}^{\frac{\sqrt{3}}{2}} \sqrt{1-y^2} dy$$



$$= \left(\frac{\pi}{12} + \frac{1}{2} \cdot \frac{1}{2} \cdot \frac{\sqrt{3}}{2} \right) - \frac{1}{2} \cdot \frac{1}{2} \cdot \frac{\sqrt{3}}{2}$$

$$= \frac{\pi}{12}$$

—H

(1) Q の速度ベクトル $(\frac{dx}{dt}, \frac{dy}{dt})$ が \vec{QP} と平行である。

$$\left(\frac{dx}{dt}, \frac{dy}{dt} \right) = k \vec{QP} \quad \text{と可なり.}$$

$$\vec{QP} = \begin{pmatrix} t \\ 0 \end{pmatrix} - \begin{pmatrix} x \\ y \end{pmatrix}$$

$$= \begin{pmatrix} t-x \\ -y \end{pmatrix} \quad \text{より}$$

$$\frac{dx}{dt} = k(t-x), \quad \frac{dy}{dt} = -ky$$

また、P と Q の距離は一定である。

$$(x-t)^2 + y^2 = 1$$

$$x-t = \pm \sqrt{1-y^2}$$

∵ $x < t$ であるから、 $x-t < 0$ 。

$$\therefore x-t = -\sqrt{1-y^2}$$

∵ \therefore

$$\frac{dy}{dx} = \frac{\frac{dy}{dt}}{\frac{dx}{dt}} = \frac{-ky}{k(t-x)} = -\frac{y}{\sqrt{1-y^2}}$$

□

133 3次関数 $f(x) = x(x^2 + px + q)$ は $x = \alpha$ ($\alpha \neq 0$) で極大値 0 をとり, $x = \beta$ で極小値 -32 を取るとする。次の問いに答えよ。

(1) α, β, p, q を求めよ。

(2) $f(x)$ を x 軸の正の方向へ c ($c > 0$) だけ平行移動した関数を $g(x)$ とするとき, 2つの曲線 $y = f(x)$ と $y = g(x)$ で囲まれる部分の面積を c で表せ。

(1) $f(x)$ は $x = \alpha$ ($\neq 0$) で極大値 0 をとるので,

(1991-3)

$$f(x) = x(x - \alpha)^2$$

と書ける。

$$f'(x) = (x - \alpha)^2 + x \cdot 2(x - \alpha) \\ = (x - \alpha)(3x - \alpha)$$

$\therefore x = \alpha, \frac{\alpha}{3}$ で $f(x)$ は極値をとる。

$x = \alpha$ で極大値, $x = \frac{\alpha}{3}$ で極小値

$$\beta = \frac{\alpha}{3}$$

$$\therefore f(\beta) = -32 \text{ となる}$$

$$\frac{\alpha}{3} \cdot \left(\frac{\alpha}{3} - \alpha\right)^2 = -32$$

$$4\alpha^3 = -32 \cdot 3^3$$

$$\alpha^3 = (-6)^3$$

$$\begin{cases} \alpha = -6 \\ \beta = -2 \end{cases}$$

$$\therefore f(x) = x(x + 6)^2$$

$$= x(x^2 + 12x + 36)$$

と書ける。

$$p = 12, q = 36$$

(2) (1)より, $f(x) = x(x + 6)^2$

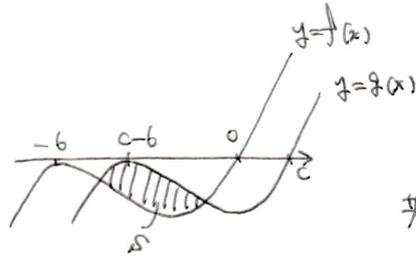
また, 条件より $g(x) = (x - c)(x + 6 - c)^2$

$$f(x) = g(x) \text{ となる}$$

$$x(x + 6)^2 = (x - c)(x - c + 6)^2$$

と整理して,

$$3x^2 - 3(c - 6)x + (c - 6)^2 = 0 \dots \textcircled{1}$$



条件より $y = f(x)$ と $y = g(x)$ は共有点 r, s かつ $r < s$ である。

①の判別式 $D < 0$ かつ $c > 0$

$$D = 9(c - 6)^2 - 12(c - 6)^2 > 0$$

$$c^2 - 4c < 0$$

$c > 0$ より,

$$0 < c < 4\sqrt{3}$$

$\therefore r, s$ の存在は r, s の共有点 r, s である。

$$S = \int_r^s (g(x) - f(x)) dx$$

$$= -3c \int_r^s (x - r)(x - s) dx$$

$$= 3c \frac{(s - r)^3}{6}$$

$$= \frac{1}{2} c \cdot (s - r)^3$$

$r + s =$

$$r + s = \frac{3(c - 6)}{3} = c - 6$$

$$rs = \frac{1}{3} \cdot (c - 6)^2$$

$$\therefore (s - r)^2 = (s + r)^2 - 4rs$$

$$= (c - 6)^2 - \frac{4}{3}(c - 6)^2 = \frac{1}{3}(4c - c^2)$$

\therefore

$$S = \frac{1}{2} c \cdot \left\{ \frac{1}{3}(4c - c^2) \right\}^{\frac{3}{2}}$$

$$= \frac{1}{6\sqrt{3}} c \cdot (4c - c^2)^{\frac{3}{2}} \quad (0 < c < 4\sqrt{3})$$

—

134 楕円 $\frac{x^2}{4} + y^2 = 1$ 上の第一象限内の点 P においてこの楕円に引いた接線が点 (4, 0) を通るとする。

(1) 点 P の座標を求めよ。

(2) O を原点, A を楕円の頂点 (2, 0) とする。第一象限において, 線分 OA, OP および楕円の弧 \widehat{AP} で囲まれた部分の面積を求めよ。

(1990-4)

(1) 楕円上の点 P を $(2 \cos \theta, \sin \theta)$ ($0 < \theta < \frac{\pi}{2}$)

と置く。

$$x = 2 \cos \theta, \quad y = \sin \theta \quad (*)$$

$$\frac{dx}{d\theta} = -2 \sin \theta, \quad \frac{dy}{d\theta} = \cos \theta.$$

$$\therefore \frac{dy}{dx} = -\frac{\cos \theta}{2 \sin \theta}.$$

接線の方程式は,

$$y - \sin \theta = -\frac{\cos \theta}{2 \sin \theta} (x - 2 \cos \theta)$$

(4, 0) を通るとする。

$$-\sin \theta = -\frac{\cos \theta}{2 \sin \theta} (4 - 2 \cos \theta)$$

$$\sin^2 \theta = \cos \theta (2 - \cos \theta)$$

$$1 - \cos^2 \theta = 2 \cos \theta - \cos^2 \theta$$

$$\cos \theta = \frac{1}{2}.$$

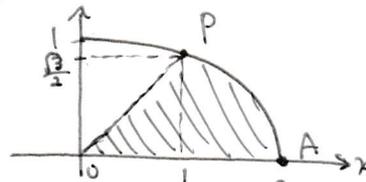
$0 < \theta < \frac{\pi}{2}$ より,

$$\theta = \frac{\pi}{3}.$$

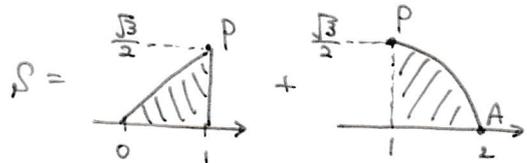
\therefore 点 P の座標は, $(2 \cos \frac{\pi}{3}, \sin \frac{\pi}{3})$

$$\text{i.e. } (1, \frac{\sqrt{3}}{2}) \quad \text{---}$$

(2)



求める面積は
左図の斜線部
右図の斜線部
である。



$$= S_1 + S_2 \quad \text{と置く.}$$

$$S_1 = \frac{1}{2} \cdot \frac{\sqrt{3}}{2} \cdot 1 = \frac{\sqrt{3}}{4}.$$

S_2 は,

$$S_2 = \int_1^2 y \, dx$$

$$= \int_{\frac{\pi}{3}}^0 \sin \theta \cdot (-2 \cos \theta) \, d\theta$$

$$= 2 \int_0^{\frac{\pi}{3}} \sin^2 \theta \, d\theta.$$

$$= 2 \int_0^{\frac{\pi}{3}} \frac{1 - \cos 2\theta}{2} \, d\theta$$

$$= 2 \left[\frac{1}{2} \theta - \frac{1}{4} \sin 2\theta \right]_0^{\frac{\pi}{3}}$$

$$= \frac{\pi}{3} - 2 \cdot \frac{1}{4} \cdot \frac{\sqrt{3}}{2} = \frac{\pi}{3} - \frac{\sqrt{3}}{4}.$$

$$S = S_1 + S_2$$

$$= \frac{\pi}{3} \quad \text{---}$$

135 (1) $a > 0, b > 0$ のとき, 2 曲線 $y = \cos^2 \frac{x}{a}$ と $y = \sin^2 \frac{x}{b}$ の交点の x 座標で最小な正の値を求めよ.

(2) $a > 0$ として, 4 曲線

$$C_1: y = \cos^2 \frac{x}{a}, \quad C_2: y = \sin^2 \frac{x}{a},$$

$$C_3: y = \cos^2 \frac{x}{a+1}, \quad C_4: y = \sin^2 \frac{x}{a+1}$$

を考える. p を C_1 と C_2 の交点の x 座標で最小な正の値とし, q を C_3 と C_4 の交点の x 座標で最小な正の値とすると, $p \leq x \leq q$ の範囲でこの 4 曲線によって囲まれる図形の面積を求めよ.

(1989-3)

(1)

$$y = \cos^2 \frac{x}{a} = \frac{1 + \cos 2 \frac{x}{a}}{2}$$

$$y = \sin^2 \frac{x}{b} = \frac{1 - \cos 2 \frac{x}{b}}{2}$$

共有点の x 座標は,

$$\frac{1 + \cos 2 \frac{x}{a}}{2} = \frac{1 - \cos 2 \frac{x}{b}}{2}$$

$$\Leftrightarrow \cos 2 \frac{x}{a} = -\cos 2 \frac{x}{b}$$

$$\Leftrightarrow \cos 2 \frac{x}{a} + \cos 2 \frac{x}{b} = 0.$$

$$\therefore 2 \cos \left(\frac{x}{a} + \frac{x}{b} \right) \cdot \cos \left(\frac{x}{a} - \frac{x}{b} \right) = 0.$$

よって $\begin{cases} \frac{x}{a} + \frac{x}{b} = \frac{\pi}{2} \\ \frac{x}{a} - \frac{x}{b} = \frac{\pi}{2} \end{cases}$ (2) (2).

$$\frac{x}{a} + \frac{x}{b} = \frac{\pi}{2} + 2m\pi$$

or

$$\frac{x}{a} - \frac{x}{b} = \frac{\pi}{2} - 2n\pi.$$

つまり,

$$\frac{a+b}{ab} x = \frac{\pi}{2} + 2m\pi.$$

or

$$\frac{b-a}{ab} x = \frac{\pi}{2} + 2n\pi.$$

$m=0$ として

$$x = \frac{ab}{2(a+b)} \pi \quad \text{or} \quad \frac{ab}{2(a-b)} \pi.$$

—4—

$$C_2: y = \sin^2 \frac{x}{a} = \frac{1 - \cos 2 \frac{x}{a}}{2}$$

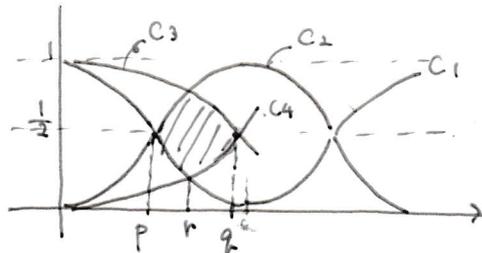
$$C_3: y = \cos^2 \frac{x}{a+1} = \frac{\cos 2 \frac{x}{a+1} + 1}{2}.$$

(2)

(1) (1).

$$p = \frac{a \cdot a}{2(a+a)} \pi = \frac{a}{4} \pi.$$

$$q = \frac{(a+1)(a+1)}{2((a+1)+(a+1))} \pi = \frac{a+1}{4} \pi.$$



C_1 と C_4 の共有点の x 座標で最小なものを r とおくと,

$$r = \frac{a \cdot (a+1)}{2(a+1+a)} \pi = \frac{a(a+1)}{2(2a+1)} \pi.$$

$y = \frac{1}{2}$ での対称性より,

$$\frac{1}{2} S = \int_p^r \left(\frac{1 - \cos 2 \frac{x}{a}}{2} - \frac{1}{2} \right) dx + \int_r^q \left(\frac{\cos 2 \frac{x}{a+1} + 1}{2} - \frac{1}{2} \right) dx.$$

$$= \int_p^r \left\{ \frac{1 - \cos 2 \frac{x}{a}}{2} - \frac{1}{2} \right\} dx + \int_r^q \left\{ \frac{\cos 2 \frac{x}{a+1} + 1}{2} - \frac{1}{2} \right\} dx.$$

$$= \int_p^r \left(-\frac{1}{2} \cos 2 \frac{x}{a} \right) dx + \int_r^q \left(\frac{1}{2} \cos 2 \frac{x}{a+1} \right) dx.$$

$$= \left[-\frac{1}{2} \cdot \frac{a}{2} \sin 2 \frac{x}{a} \right]_p^r + \left[\frac{1}{2} \cdot \frac{a+1}{2} \sin 2 \frac{x}{a+1} \right]_r^q$$

$$= -\frac{a}{4} \sin \frac{a+1}{2a+1} \pi + \frac{a}{4} \sin \frac{\pi}{2} + \frac{a+1}{4} \sin \frac{\pi}{2}$$

$$- \frac{a+1}{4} \sin \frac{a}{2a+1} \pi$$

$$= \frac{2a+1}{4} - \frac{a}{4} \sin \frac{a+1}{2a+1} \pi - \frac{a+1}{4} \sin \frac{a}{2a+1} \pi$$

$$\therefore S = \frac{2a+1}{2} - \frac{a}{2} \sin \frac{a+1}{2a+1} \pi - \frac{a+1}{2} \sin \frac{a}{2a+1} \pi$$

—H—